

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2020年9月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで58年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島

〒160-0022 新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F

Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2020年9月度ギャラクシー賞月間賞

火曜ドラマ「私の家政夫ナギサさん」

7月7日～9月1日放送 22:00～22:57 TBSテレビ、TBSスパークル

女性が職場でバリバリ働き、男性が家事全般をこなすという“逆転”は最近のホームドラマのトレンドだが、多部未華子と大森南朋の年齢差を超えた純愛ストーリーとして楽しめた。特に最近の多部未華子の充実ぶりは特筆すべきで、以前から片鱗を見せていたコメディエンヌとしての才能が本格的に開花した。

金曜ドラマ「MIU404」

6月26日～9月4日放送 22:00～22:54 TBSテレビ、TBSスパークル

息もつかせぬ場面展開の連続で、最後に予測不能な結論が毎回待っている野木亜紀子脚本と塚原あゆ子演出は、さすがだった。特に、9話（被害者女性の救出とドローンを使った殺人）から10話（ネットでフェイク動画を拡散させる犯罪）の展開が素晴らしかった。綾野剛と星野源のパディもこれまでにない刑事でユニークだった。

土曜ナイトドラマ「妖怪シェアハウス」

8月1日～9月19日放送 23:15～24:05 テレビ朝日

ポップな妖怪たちによるコメディというライトな入り口でありながら、根底にはフェミニズム的な問題意識が流れた脚本が秀逸。役者陣も個性豊かな妖怪たちを生き生きと演じ、抑圧され生きづらい社会のなかで、いかに自分の思うままに生きるのかを痛快に描いていた。

ETV特集「基地の街にロックは流れて～嘉手納とコザの戦後史～」

9月26日放送 23:00～24:00 日本放送協会

沖縄の基地問題については数多くの作品が作られているが、嘉手納基地からベトナムなど戦地に向かうアメリカ兵の前で演奏してきたロックミュージシャンやアメリカ兵相手のバーの元従業員の視点で見る戦後史は新鮮だった。それぞれの立場はもちろん、各個人の中でも複雑な想いが交錯するところに基地問題の根深さを改めて感じた。